

香川県立多度津高等学校 硯ヶ丘同窓会
(旧香川県立多度津工業高等学校・旧香川県立多度津水産高等学校)
関係各位

創立 100 周年記念事業に係る趣意書

謹啓 同窓会会員ならびに関係の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また平素より同窓会へのご理解とご協力を賜り心より感謝を申し上げます。

さて、母校は大正 11 年に工業科の母体となる香川県立多度津中学校が創立されて以来、香川県立多度津工業学校、香川県立多度津工業高等学校と改編されました。また、昭和 12 年には、水産科の母体となる香川県水産講習所が創立されて以来、香川県立水産学校、香川県立水産高等学校と改編されました。昭和 24 年に、高校再編成により、工業科と水産科を統合し、香川県立多度津高等学校となりました。その後、昭和 28 年に香川県立多度津工業高等学校、香川県立多度津水産高等学校として、別々の道を歩みましたが、平成 19 年に再び一つとなりました。このように母校は創立以来、時代の流れの中で幾多の変遷を経て、多くの優秀な卒業生を輩出しながら、今日に至っています。現在は香川県立多度津高等学校として、2021 年には、節目となる創立 100 周年を迎えようとしています。そして、香川県立多度津工業高等学校、香川県立多度津水産高等学校、両校の同窓会も平成 22 年の香川県立多度津高等学校第一期生の輩出を機の一つとなり、香川県立多度津高等学校硯ヶ丘同窓会と称して、お互いに手を取り合いながら歩みを始めています。

母校が創立 100 周年を迎えるにあたり、同窓会としても記念事業という形で最大限の協力をいたしたく、役員会を開催し、協議を重ねてきました。そして、平成 26 年 11 月に評議員会を開催し、同窓生ゆかりの品を展示する展示室と在校生、同窓会会員が活用できるセミナールームを併設した、仮称「TAKOUメモリアルホール」の建設を第一候補として、評議員の皆様にご承認をいただきました。同窓会としては、この事業をさらに推し進めるため、「創立 100 周年記念事業実行委員会」を設立し、記念事業完遂に向けた取り組みをスタートさせることになりました。

仮称「TAKOUメモリアルホール」の建設計画につきましては、香川県立多度津高等学校校舎改築工事に伴い、同窓会として単独で学校敷地内にホール建設予定地を香川県より提供していただくことになっています。構造は鉄骨造の 2 階建てを計画しています。そして、このホール建設費と、この先 20 年間程度の運用・維持・管理費を合わせて、8,000 万円程度が必要であると試算しています。



イメージ (案) 仮称「TAKOUメモリアルホール」

つきましては、出費多端の折誠に恐縮ではありますが、今後の母校の益々の発展のために同窓会会員ならびに関係の皆様におかれましても、本趣旨にご賛同いただき、記念事業が完遂できますよう格段のご支援・ご高配を賜りますことを謹んでお願い申し上げます。

末筆ながら、同窓会会員ならびに関係の皆様のご健勝と、今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

謹 白

2018年6月吉日

創立100周年記念事業実行委員会

会 長 大西 秀行 (硯ヶ丘同窓会会長)

副 会 長 柳原 真奈美 (P T A 会 長)

副 会 長 岩澤 正俊 (多度津高校校長)

【現在の多度津高校 (航空写真)】



栄町キャンパス (旧多度津工業高校)



堀江キャンパス (旧多度津水産高校)

【歴代の校章】



【現在の実習船 第5代目 香川丸 平成10年〜】



*新実習船「翔洋丸」(約650t)
2019年4月より、大分県との共同運航